

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

記

1. 講師 川添記念病院 精神科 医長
本村 春彦 先生

2. 演題 「勝手に察する」「思い込む」

3. 日時 平成30年12月7日(金)18時00分～20時00分

4. 場所 10号館2階 歯科心身医学分野医局

5. 要旨

誰でも日常生活で頻繁に使っている「勝手に察する」「思い込む」ことをキーワードに、コミュニケーションというものの難しさを改めて考え直してみる。「妄想」の一部も、それらのキーワードを使って説明できるかもしれない。また、医療におけるコミュニケーションでは、さらに問題が起きやすい状況であることを少しでも理解していただけたら幸いである。

恒例の系統講義ですが、今回は初心に戻って 10 年分の集大成にして頂きました。患者さんの診察中にお互いの「こころ」の中で何が起きているのか、対人場面における心理的な相互作用について、「勝手に察する」「思い込む」をキーワードに初学者にも分かりやすく、それなりの経験者にも奥深くまでお話していただきました。学部教育でもよく引き合いに出される「共感」という言葉ひとつをとっても、訴えの内容に同意するというのではなく、「困っているという事実」「その感情」を分かろうとする営みだと説明されるとその意味の深さが随分違ってきました。特に医療現場はお互いに相手の出す信号に影響されやすく、絶え間なく変化し続ける状況ですので、よりズレの少ないコミュニケーションの技法についてもいくつかご教示いただきました。



懇親会には、精神科の竹内先生も合流されました。ビール片手に臨床の話題から今年の出来事まで話が尽きず、忘年会もかねて終電まで盛り上がりました。(文責:豊福)

